

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 18 日

事務事業名		結婚支援事業					事業区分		担当		
							新規/継続	継続	事務事業No.	010104000285	
		政策体系上の位置付け					単独/補助	単独	所属課	030301 生活環境課	
政策体系	総合計画の施策名	0101		子育て支援の充実と少子化対策の推進							
	政策名	01	子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり					課長名			
	施策名	01	子育て支援の充実と少子化対策の推進					グループ			
	手段名	04	④結婚の応援					担当者名			
		財務会計上の位置付け					事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計				
	01	02	01	13	01	00	男女共同参画事業				
法令根拠	桜川市結婚支援事業補助金交付要綱、桜川市結婚相談員設置要綱、桜川市出合いサポート補助金交付要綱、桜川市結婚お祝い金事業補助金交付要綱					単年度繰返し (平成21年度～)					
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入					

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	<p>少子化の要因のひとつに非婚化・晩婚化が上げられている。本市においても適齢期を迎えた独身男女の比率が高まっており、大きな問題となっている。このような状況を踏まえ、結婚の相談、結婚への意識を高めるセミナー、出合いパーティーを開催し、結婚を希望する男女の支援を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 出合いパーティーの開催 結婚支援セミナーの開催 独身男女の親、結婚支援者を対象としたセミナーの開催 結婚の相談 茨城県、いばらき出合いサポートセンターとの連携、協力 結婚支援を行うNPO、市民団体への活動支援 啓発チラシの作成、配布 婚活をテーマにした研修会における研鑽

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<ul style="list-style-type: none"> 出合いパーティーの開催 結婚の相談 いばらき出合いサポートセンターとの連携、協力 結婚支援を行うNPO、市民団体への活動支援 啓発チラシの作成、配布 婚活をテーマにした研修会における研鑽 	出合いパーティーの回数		2.00	4.00	12.00	12.00	12.00
	セミナーの回数		1.00	0.00	1.00	1.00	1.00
	結婚に関する相談件数		10.00	13.00	20.00	20.00	20.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
適齢期 (25歳～49歳) の独身男女	独身者数		3,297.00	2,997.00	2,703.00	2,433.00	2,190.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
結婚への意識醸成	パーティー参加者		14.00	96.00	240.00	240.00	240.00
	セミナー参加者		22.00	0.00	25.00	25.00	25.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	期間限定 総投入量
		国庫支出金	千円	0	0	0		
		県支出金	千円	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0		
		使用料・手数料	千円	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0		
		一般財源	千円	1,764	4,135	7,493		
		事業費計 (A)	千円	1,764	4,135	7,493		
		正規職員従事人数	人	4.00人	4.00人	4.00人		

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)				07年度事業費 予算 (千円)			
	07 報償費	31			07 報償費	886		
	10 需用費	12			10 需用費	59		
	12 委託料	132			18 負担金補助及び交付金	6,548		
	18 負担金補助及び交付金	3,960						
			合計	4,135		合計	7,493	

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	婚活支援 新婚家庭の定住促進	婚活支援 新婚家庭の定住促進	婚活支援 新婚家庭の定住促進

事務事業名	結婚支援事業	事務事業No.	10104000285	所属課	生活環境課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成18年、茨城県において独身者の結婚を支援する「いばき出会いサポートセンター」が開設。 平成21年、桜川市男女共同参画プラン策定委員より、結婚支援の提案があり、平成22年より本格的に結婚の支援を開始。 平成25年、内閣府が少子化の要因として未婚化・晩婚化を位置づけ、結婚から出産、子育てまでを一体的に捉えるようになった。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 市は積極的にイベントを開催しているが、成婚までは難しいが続けて欲しい。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <p>結婚の応援は少子化対策の一つであり、総合計画の施策目的に沿ったものであり、整合がとれている。</p>
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <p>近年は非婚化・晩婚化が少子化の大きな要因となっており、国や県での重要重要課題であるため、行政による支援は必要である。</p>
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <p>婚活パーティーやセミナー内容の更なる充実は可能であると思われ、向上の余地がある。</p>
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 <p>結婚への意識啓発や身近な相談窓口がなくなり、結婚希望者への対応ができなくなる恐れがある。</p>
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 農業後継者結婚相談事業 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる <p>今年度に農林課と、結婚相談員を交えて協議し令和7年度から生活環境課所管に変更になる。</p>
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <p>最小限の事業費、人件費で事業を実施しており削減の余地はない。また、本年度は出会いの場を提供するイベントを12回企画するため、事業費が増加となる。</p>
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である <p>パーティーへの参加費は自己負担とし、公正・公平性に努めている。</p>

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 本年度は、イベント3回、サポートセンターや他市との合同イベント1回を開催した。体験型イベントは好評である。また、マッチングを行ったイベントでは9組のカップルが成立した。																						
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持			×																				
	低下			×																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 「婚活イベント」となると参加者の本気度に違いがあり女性が参加しづらいところがあるため、出会いの場を提供するような「恋活」「友活」などのイベントを企画することが必要である。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ①																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B <p>A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出</p>		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>	
---	--	--	--